

市政のここが聴きたい！

一般質問

10議員が登壇

傍聴者延べ52名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。



投票率の向上について

佐藤 真

問 投票率向上のための市としての方策は。

答 選挙時には、広報などに投票日や投票方法を掲載するほか、防災行政無線等で投票の呼びかけを行っている。平時には、選挙の意義や大切さを啓発する出前講座などで中学校に出向き、実物の投票箱を用いて選挙の体験をしてもらっている。

問 高齢者など移動が困難な方への投票支援は。

答 実施可能な移動支援策について研究していく。

問 県選挙管理委員会の報告書では、期日前投票所の増設を働きかける旨の記載があるが、増設について市の考えは。

答 期日前投票所を駅や大型店舗などに開設している自治体があることは認識しているが、一定期間の使用が可能な場所確保などの課題解消が必要である。期日前投票を利

用する有権者の増加が予想されるので、研究をしていく必要がある。

問 期日前投票所を短期間の巡回にて設置することと、施設使用期間の短縮や有権者の身近な場所での期日前投票ができるメリットもあると考えるが、市の見解は。

答 有効な手段の一つと認識しており、本市の実情を踏まえた課題の解決に向けて研究を進める。

上下水道管周辺の安全対策について

問 上下水道管の建設改良工事における道路陥没や周辺土地などへの被害の防止策は。

答 上下水道管の埋設作業においては、十分な土の締め固めを行い、道路陥没や周辺被害が生じないように注意して施工している。

問 既存埋設管の老朽化によって道路陥没や周囲

の安全確保に支障をきたすことも考えられるが、適切な維持管理をどのように行うか。

答 日頃から道路のくぼみ、亀裂、構造物周辺の状況等に注意し、速やかに確認の上、対処している。また、上水道の計画的な漏水調査、下水道管路内の力メーラ調査及び路面下の空洞調査を行っている。今後は、下水道の計画的調査に向け、方法や予算措置を検討する。



武蔵台地区で進む下水道管布設工事